野方児童館

のんちっち通信　11月



↑ホームページ
ＱＲコード



秋が深まってきましたね。今月も季節を感じながら親子でたのしく過ごしましょう。のんちっちタイムの予定もごらんください。のんちっちタイムがない日でもホールなどで遊べます。





利用にあたってわからないこと、育児で不安なことがありましたら、遠慮なく職員にお声がけください。

中野区新井２−48−10
℡　03-3387-8836
Fax　03-3387-8831
✉　nogatajidoukan@city.tokyo-nakano.lg.jp



利用時間	ホール	図書コーナー	のんちっちルーム（乳幼児親子専用室）
月・火・木・金	10:00～概ね 14:00		10：00～18：00 （水、金は 10:00～19：00）
水	10:00～概ね 13:00		
土・学校休業日	10:00～13:00	使えません	

◆ホールの利用は、平日は平和の森小学校の下校時刻に合わせているため、変更される場合があります。
◆閉館時間には退室できるよう、片付け、身支度等の準備をお願いいたします。
◆12:00～13:00 の間、昼食をとることができます。職員までお声がけください。
◆乳幼児期の子育て、悩みを相談できる利用者支援専門員「いくさぽさん」がいます（原則、月～水、金、土曜日の 17 時まで）。お気軽に話にきてください。



子育てなかま作り
支援事業

のんちっちタイム

水曜日、金曜日
11 時～11 時 45 分

日にち	内容	日にち	内容
4 日（水）	パラバルーンであそぼう	6 日（金）	★地域育児相談会 親子ヨガ＆ママのためのヨガ　①
11 日（水）	赤ちゃん体重測定	13 日（金）	★地域育児相談会 親子ヨガ＆ママのためのヨガ　②
18 日（水）	紙しばいの会　ルンルンによる 読み聞かせ	20 日（金）	避難訓練　＆　たからさがし
25 日（水）	野方保育園　出前保育 4 歳児クラス出し物	27 日（金）	おたんじょう会　手形取り

🍁予約はいりません。いつでも参加できます。★の地域育児相談会のみ予約制です。裏面をごらんください。
🍁4 日のパラバルーンは赤ちゃんでも幼児さんでも保護者の方も楽しめますよ。
🍁18 日毎月来ていただいているルンルンさん、今月はどんなおはなしかな？お楽しみに。
🍁25 日野方児童館出前保育では 4 歳児クラスのお子さんが出し物を披露してくれます。
🍁27 日はどなたでも手形、足形をとれます。 汚れても大丈夫な服でお越しください。

地域育児相談会

親子ヨガ　＆　ママのためのヨガ



日頃育児などで忙しいお母さん方、体を動かしてすっきりしませんか？講師をお呼びし、お母さん方の体や気持ちを整える講座を行います。初めてでも大丈夫、一時保育がありますので安心して行えます。

日時：11 月 6 日(金)、13 日(金)　いずれも 10 時 45 分～11 時 45 分　定員：各15組

講師：須藤久実子氏(yogamaya 公認インストラクター)

中野区民優先、事前申し込みが必要です。詳細はチラシ、HP 等をごらんください。



どようびのんちっち

11月21日　(土)11 時～11 時 30 分

ミニうんどうかいごっこをおこないます。動きやすい服装できてください。どんな競技なのかは来てからのおたのしみ・・・



おねがい

11月28日(土)10時～12時は、小学生のイベントを行うため、ホールではあそべません。
ご了承ください。のんちっちルームでは遊べます。

10月の様子①　ミニうんどうかい

16 日にのんちっちタイム内でミニうんどうかいを行いました。ホールがいっぱいになるくらい大勢の親子が参加し、とても盛り上がりました。「ころころたまいれ」は赤白の箱が移動する玉入れごっこ、「がたんごとんレース」は箱に子どもを入れて母に引っ張ってもらうレース、「ハイハイパン取り競争」は文字通りゴールにおもちゃのパンをぶらさげて行うレースです。がんばった子どもたちにアンパンマンの手作りのメダルが渡されました。保護者の方もお疲れさまでした。



10月の様子②　歯科講習会

23 日に北部すこやか福祉センターの歯科衛生士さんにお越しいただきました。歯の話はみなさん熱心に聞き入っていました。個別の相談もあり、子どもの歯磨きの具体的な方法を実践形式で教えてもらっていました。また、歯ブラシや歯磨き粉の見本もあり、いかにして子どもの歯を健康にするかがわかりました。こどもに泣き叫ばれてもお母さん方、頑張りましょう！



いくさぽさんから



朝晩は気温差があり、着るものに困る時期ですね。特に赤ちゃんは寝るとき掛け布団を自分でうまくかけ直せないため、スリーパーなどで調節してあげると安心です。反対にあまりモコモコした服を着せすぎると熱がこもってしまうので、汗をかいていないか見ながら調節してあげましょう。